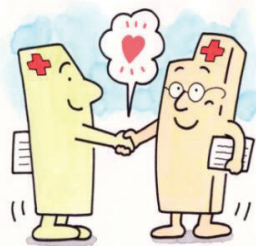


第 224号

# 連携室だより



公益財団法人  
北海道医療団

## 帯広第一病院



### 帯広第一病院理念・基本方針

#### 【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

#### 【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



## 救急救命士による 症例検討会の様子



### 今号の内容

- ・救急救命士による症例検討会の様子 ..... (1)
- ・救急救命士による症例検討会開催報告 医事課長 安田 貴薫
- 臨床研修医実習報告 ..... (2) (3) (4)

## 救急救命士による症例検討会開催報告

医事課長 安田 貴薫

令和6年8月30日(金)18時から、令和6年度第三回症例検討会（とかち広域消防）を開催しました。昨年同様、感染対策としてZOOMを併用したハイブリット形式で、遠方の消防隊員の方も多く参加頂きました。

症例検討会では、当院に搬送された事例をもとに救急隊員から経過報告、対応時の問題提起、質疑を話していただき、当院医師は搬送後の経緯説明や質疑に丁寧に回答されておりました。事前に用意していた質疑以上に会場やWEBでの質問が寄せられ、有意義な症例検討会が行えた実感しております。

症例検討会の中で、「救急隊の救急プロトコルは病院のものと設備や環境も異なる」「追及することより、患者をいかに安全かつ円滑に搬送するか役割を明確にするべき」との消防側の意見が印象的でした。それぞれの役割を果たし、さらに連携を深めるための情報共有や研鑽を続ける真剣さがとても伝わってきました。

最後は、当院救急センター長の土屋朗之先生が日ごろの救急隊員への感謝を述べられ、より連携しやすい環境づくりと情報共有、協力体制強化を作っていきましょうと総括いただきました。今後も、十勝の救急体制の維持、発展のためによりしくお願いいたします。

## 臨床研修医実習報告



臨床研修医（2年次）

浅野 雄貴

十勝管内の医療従事者の皆様には日ごろから大変お世話になっております。

臨床研修医2年目の浅野と申します。今年度からは当院での研修のみならず、地域医療研修として十勝いけだ地域医療センター、精神科研修として国立病院機構帯広病院、産婦人科研修として慶愛病院にお世話になりました。9月からは小児科研修として帯広協会病院にもお世話になる予定となっております。いずれの病院でも非常に優しく丁寧に指導していただき、その専門科の魅力や楽しさだけでなく、他科として他院として関わりあう上で大切となることなどについても学ばせていただきました。また、当院以外の病院での研修でより帯広、十勝の医療の特性について実感することができました。

少しでも帯広の医療に貢献できるようこれからも鍛錬を続けていきたいと考えております。これからも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



臨床研修医（2年次）

濱田 健太郎

日々、地域の方々から温かい支援と信頼をいただきながら、医療の現場で学び成長させていただいています。この場を借りて、心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

医師としての抱負は、何よりも「患者様一人ひとりに寄り添う医療」を実現することです。病気や怪我だけで

なく、患者様の不安や悩みにも真摯に向き合い、安心して治療を受けていただける環境を提供したいと考えています。そのために、常に最新の医学知識を身につけ、技術の向上に努めるとともに、優しさと思いやりをもって診療に臨むことを誓います。

また、地域医療の一員として、皆様と協力し合いながら、より良い医療環境を作り上げていきたいと思っております。地域の皆様の健康を支えるために、日々の診療に全力を尽くし、地域社会に貢献できるよう努力してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 臨床研修医（2年次）

三宅 陸斗

十勝管内の医療従事者の方々には平素よりお世話になっております。

帯広第一病院初期研修医2年目の三宅陸斗です。去年は複数の診療科で研修し様々な疾患に対する対応や治療、また救急対応などを中心に勉強させていただきました。現在は消化器外科に配属し、消化器外科医を目指して日々手技や勉強などをしております。また、今年度は精神科や小児科、産婦人科、地域医療といった診療科を、他病院にて研修させていただくことになっています。すでに精神科、産婦人科を研修させていただき、短い期間ではありましたが丁寧にご指導いただき、多くのことを勉強させていただきました。これからも自己研鑽に努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



## 臨床研修医（1年次）

梅田 匠

十勝管内の皆様いつも大変お世話になっております。

帯広第一病院の研修医として働き始め早くも4ヶ月が過ぎました。これまで総合診療科、救急科、麻酔科のもとで学ばせていただき、そして現在は外科にて研修させていただいております。総合診療科、救急科では問診や身体診察、採血など診療に必要なスキルをたくさん経験させていただきました。また、麻酔科では麻酔の導入・覚醒や術中管理、挿管方法等をご指導いただきました。現在外科ではたくさんのお手術に参加させていただき、手術や術後管理等を学ばせていただいております。

この4ヶ月は毎日が学びの連続で、できることが少しずつ増えてきている一方で、まだまだできないことがたくさんあると日々実感しております。この感覚を今後の研修でも大切に、引き続き研鑽していきたいと思っております。

研修させていただくうえで皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一生懸命頑張りますので引き続きご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。





## 臨床研修医（1年次）

熊谷 圭太

十勝管内の医療従事者の皆様、平素より大変お世話になっております。

4月より帯広第一病院に入職いたしました、初期研修医1年目の熊谷圭太と申します。

入職後は主に外科をローテートし、多岐にわたる手術手技や診断技術を学びました。縫合や切開などの基本的な手技から、開腹手術や腹腔鏡手術の術者、補助など幅広く経験させていただき、緊急手術の対応や術前・術後の管理方法についても学びました。実際の患者さんと接することで、教科書では学ぶことのできない貴重な実践的知識を学ぶことができました。

また、研修を通じて、医療現場でのチームワークの重要性を痛感しました。看護師や他の医療スタッフとの連携が不可欠であること、そして患者さんの不安を取り除くためのコミュニケーションの大切さも学びました。

今後は、信頼される外科医を目指し、常に学び続け、成長し続ける姿勢を持ち続けたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



## 臨床研修医（1年次）

濱田 篤史

十勝の皆様にはいつも大変お世話になっております。

今春から臨床研修医として帯広第一病院に入職し、消化器内科から始まり、現在は総合診療科をローテートしております。臨床の現場は勉強とはまた違う緊張感があり、毎日慣れない業務に精一杯の日々ではありますが、段々とやれることが増えていくことにやりがいを感じております。

十勝は私が生まれ育った土地です。そこで医療人の一人として十勝の医療に関わることに喜びを感じるとともに、役目を果たすべく勉強により一層励む必要性も痛感しています。各診療科の先生方やメディカルスタッフの方々には、毎日ご指導していただいておりますこと、心からの感謝を申し上げます。

まだ研修が始まり数か月と、経験値としては未熟の一言ではありますが、初心に志した「患者様一人一人を大切に、真摯に向き合うことを忘れずに。また医療に携わる様々な職種の全ての方に対してリスペクトを忘れずに。」を胸に刻み、一人前の医師になるべく精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室  
〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3  
TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)  
FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

